

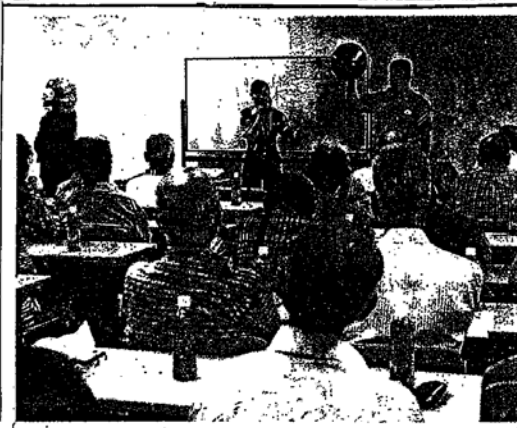


高齢者交通安全講習会

一時停止



恒例の「高齢者交通安全講習会」を、9月4日(水)午後2時からJA横浜山内支店の大会議室を借用して開催いたしました。老人会等から80名余の参加があり盛況でした。当日取材のあった「タウンニュース」記事を掲載させていただきます。



ルールを再確認

高齢者交通安全講習会

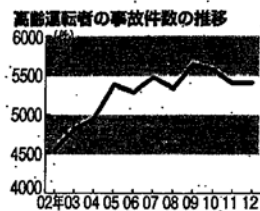
高齢者を対象とした交通安全教室(山内地区社会福祉協議会、青葉交通安全協会、ボランティア山内共他)が9月4日、JA横浜山内支店で開催され、地域住民79人が参加した。写真。

この日は、青葉警察署、神奈川県警本部の警員を講師に招き、講話を裏返し、信号の点滅時間は、30代男性の歩行速度で、横断歩道の半分しか進めません。自転車は一時停止を守るだけで、事故や死亡事故が必ず減ります。などの話に参加者は頷いて聞いていた。最後は、交通標識マークのビンゴゲームを開始。参加者らは、改めて交通ルールを確認していた様子だった。

横断歩道



2013年(平成25年)9月29日 日曜日 夏月



65歳以上の高齢運転者が、昨年、県警によると、講習会を開催するなどして注意を呼びかけている。

高齢者が運転する車やバイクによる事故に前止めが分からない。20日には鎌倉市で80代男性の運転する車が歩道に乗り上げ、中学生3人をはねる事故も起きた。県警は、高齢者向けの講習会を開催するなどして注意を呼びかけている。

高齢ドライバーに 県警注意呼びかけ

歩道乗り上げ3人がけ

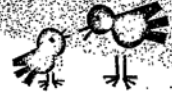
鎌倉の事故は20日午後6時40分(土)に起きた。80代男性の車は、交差点で前の車の脇を抜こうとして対向車線にはみ出し、計3台と突っかかり、その年々歩道に乗り上げた。

鎌倉署によると、男性は、途中、ブレーキを踏もうとして喚びながらアクセルを踏んでしまったという。「焦ってしまっただろう」と話している。

ふくし山内

20号

平成25年10月20日 発行 山内地区社会福祉協議会 会長 小野辺 晃



青春とは...

冒険家の三浦雄一郎さんが、八十歳にして三度目の世界最高峰エベレストの登頂に成功し、史上最高齢の登頂記録を四歳更新したという快挙のニュースには、称賛と驚きの声が相次いだ。

もとより、積み重ねた長年の努力と経験に基づき周到な準備を重ね、心・技・体が整った上での快挙であり、だれもが真似のできることではないが、同世代の私も大きな勇気と元気をいただいた。

三浦さんは事前の記者会見で、尽きぬ挑戦への意欲について「夢を見ること、チャレンジすることが私のテーマだと思っている」と語っていたそうだ。

その夢達成後の〈天声人語〉は、「高齢の人には三つのタイプがあるとも言われる。まだ若い人、昔は若かった人、そして一度も若かったことのない人。快挙に励まされてくままだまだ若い人」が世に増えそうな、明るい予感がする」と結んでいる。

「青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ...年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る」(SEIJI・ウヰルソン)

私が感銘を受けた詩の一節を思い出す。

登山では、上りよりも下りの方が難しいとも言われる。一步一步慎重に歩を進めたい。夢を抱いて、大地にしっかりと足をつけて...

〈小野辺 晃〉



「赤ちゃん休憩室」のあるまち あざみ野

～まちを赤ちゃんにやさしく～

地下鉄あざみ野駅の改札前に、「あざみ野赤ちゃん休憩室」が誕生して、8年目に入りました。この小部屋は、(ビルの中ではなく)お母さんたちが困っていたまちの現場に合った、明るく清潔な「赤ちゃん専用の空間」です。

対象は、乳幼児とその保護者、そして妊婦さん。授乳・おむつ替えや着替え・休憩などお出かけ中のくらしの拠り所になっています。便利な設備はありませんが、靴をぬいで上がる床と置き量が、安心して子どもを解放出来ると、お母さんたちに好評です。

～地域のやさしさを集めて～

赤ちゃん休憩室を運営しているのは、専門のグループではありません。徒歩圏を中心に地域のいろいろな人たち20人が、4グループに分かれて細かく分担しています。普段の生活の中で、責任をもって「当番」を受持っているのが、特徴です。

室内に常備されている「感想ノート」を見ると、利用者は「見守り」時間だけでなく、この部屋自体に地域のやさしさを実感している人の多いことが判ります。ゴミ箱なく、ゴミ持ち帰りルールが守られていることから、便利なサービスルームとは全く違った、心の交流を感じます。

運営メンバーは、現場を担うみんなが主役です。メンバーが地域の隣人に引継がれる事例も増えました。「感想ノート」には、子育てが一段落すれば仲間になりたい、というお母さんの書き込みもあり、地域への定着が期待されます。

～連携の ちから～

地域のやさしさを形にする「あざみ野赤ちゃん休憩室」のプランは、区民が立案・推進し、区民と区と市(交通局ほか)の幅広い連携により実現しました。その連携成立の鍵は日々のくらしの中で「当番」の役割をきちんと果たす、地域の人たちのやさしい心と行動でした。

「感想ノート」には、ほかの駅にもこのような場所を、という希望が度々ありますが、まだどこにも実現していません。

<運営チーム 山村 敏和>

あざみ野赤ちゃん休憩室：市営地下鉄 あざみ野駅 改札前

月～金曜日(祝日も) 10～16時(年末年始を除く)

主任児童委員って？

「児童を専任する民生委員」として、厚生労働大臣より3年間の任期で委嘱されます。主な活動としては、① 担当の小・中学校の先生との情報交換。入・卒業式等の行事への参加、② 子どもに関する研修や専門機関(養護学校や療育センター等)の見学、③ 児童相談所との連携、地域の予防活動や見守り、④ 地域ぐるみで子育てを行う場所づくりをし、交流を深めています。山内地区社会福祉協議会と山内連合自治会より支援いただき「子育て山内ひろば」を開催。早いもので、平成15年にオープンしてちょうど10年になります、⑤ 月1回の区役所での定例会で、区の子育て、学校の情報等意見交換し、各々の活動に生かしています。

まずは相談していただき、福祉保健課等につなげるパイプ役として、地域の安心に活用していただければ幸いです。(児童とは18歳未満の子どもをいいます)

<山内地区主任児童委員 石田 智子>



日時：毎月第2・第4木曜日

午前10時30分～12時

場所：保木自治会館

横浜市青葉区美しが丘西2-7-1(美しが丘HAC前)

対象：子育て中の方ならどなたでも、お子様とご一緒においで下さい。

費用：無料 お申込み：特に必要ありません。当日直接会場にお越し下さい。